

今回の補正予算は、防災・減災、国土強靱化やTPP対策などの国の補正予算に呼应し、公共事業費や農林業の競争力強化関連経費などを追加計上するとともに、「とちぎ創生15戦略」に位置付けた地方創生に向けた取組等を推進することとした。

また、歳入歳出について現段階における見込みにより精査を行い、今後の財政運営の安定に資するため、財政調整的基金の涵養を図るとともに、第77回国民体育大会及び第22回全国障害者スポーツ大会の開催に備え、新たに基金を設置し積立を行うこととして編成したものである。

I 一般会計歳入歳出予算補正の内訳

1 補正額	▲ 111 億	606 万円	
うち国補正分	149 億	7,593 万円	
通常分	▲ 260 億	8,199 万円	
2 補正後累計	7,980 億	1,718 万円	
【 29(2017)年度2月補正後予算額	8,089 億	8,147 万円	比 98.6%】

3 補正の財源

(1) 地方消費税清算金	13 億	7,400 万円
(2) 地方交付税	5 億	7,385 万円
(3) 国庫支出金	18 億	616 万円
(4) 繰入金	▲ 139 億	688 万円
(5) 繰越金	41 億	535 万円
(6) 諸収入	▲ 47 億	4,827 万円
(7) 県債		▲ 7,900 万円
(8) その他	▲ 2 億	3,127 万円

※ 30(2018)年度末県債残高見込み 1兆 1,248 億 5,233 万円
(臨時財政対策債除く 5,727 億 945 万円)

4 歳出の主な内容

・職員費	▲ 3,755 百万円
・退職手当	▲ 2,565 百万円
・公債償還費	▲ 3,098 百万円
・基金積立金	7,266 百万円
・公共事業費	6,841 百万円
・建設事業費	▲ 3,477 百万円
・災害復旧費	▲ 1,498 百万円
・直轄事業負担金	▲ 1,736 百万円 など